

災害対応の検証について（中間報告）

■ 目 的

今回の災害対応の実態を明らかにし、今後の災害対応、防災体制の強化・充実に資する。

■ 進め方

職員全員参加による組織的で実効性のある検証作業のプロセスとするため、個人→各災害対策班→各災害対策部→災害対策本部へと段階的に持ち上げ検討する。

■ 検証からの課題

災害対策班ごとで取り上げた課題・改善策等の検証シートから災害対策部として検証を加えた結果より、主な課題として「情報」、「避難所」、「備蓄品等備え」について整理。

- 情 報：停電時における電力の確保、情報の収集・発信の役割分担の見直し、コミュニティFMラジオとの連携強化
- 避難所：初動における行動マニュアルの見直し、避難所運営の職員研修の検討、自主防災組織やボランティアとの連携
- 備蓄品等備え：停電や厳冬期に対する備え（暖房機器など追加や計画の前倒しの整備）、分散備蓄の推進、災害時応援協定先の事業者の拡充と効果的な連携

◆ 町内会・自治会との意見交換（11/12）とアンケートの実施

◇ 取り組んだこと

安全確認や高齢者等への安否確認、発電機の提供、避難所運営の支援など

◇ 行政への要望

双方向の情報伝達・共有、職員への防災対応の教育、備蓄品の充実など

● 今後の方向性

- 停電時等、非常用電源の確保
- 情報収集、発信の見直し（災害情報、生活関連情報、発信方法など）
- 避難所運営に関する職員研修と地域との連携
- 発電機や厳冬期に備えた暖房機器の前倒し、拡充
- 分散備蓄の推進